

数学

数学科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基礎・基本的な知識を習得し、それを使って計算することができる力	問題の特徴や本質を捉え、それを解決するために思考する力

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査において、複雑な計算をする設問の正答率が低い結果であった。 <input type="checkbox"/>ア</li> <li>授業で学習した内容を活用しながら課題解決をすることを苦手とする生徒が多い。思考力・判断力・表現力向上を目指して、継続して取り組む必要がある。 <input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業で、問題演習の時間を設ける。また、ロイロのーなどを振り返りなどに有効活用する。</li> <li>課題解決型の問題を提示し、自己内対話を中心とした、対話的な授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストは小單元ごとに実施し、單元テストも実施し單元ごとの理解度も計る。</li> </ul>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査や單元テスト、小テストにおいて、小数や分数を含む計算や複雑な計算において正答率が低いという課題が見られた。 <input type="checkbox"/>ア</li> <li>授業で学習した内容を活用する問題を不得手とする生徒が多い。課題解決力を伸ばす必要がある。 <input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業で、問題演習の時間を設ける。また、学びの軌跡(振り返りシート)を活用し、自己の課題や発展的な学習内容などを追及し探求する活動を取り入れる。</li> <li>課題解決型の問題を提示し、話し合い(学び合い)などを中心とした授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小單元ごとに小テストを行い、毎時間の最後5分は、学びの軌跡の取り組み時間とする。</li> <li>單元末に課題解決型問題を提示する。</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算と共に複雑な計算を必要とする設問の正答率は改善の傾向にある。 <input type="checkbox"/>ア</li> <li>一方、数学的な見方や考え方を必要とする設問に関しては課題がみられる。 <input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習の時間に、個別に対応する機会を設け、継続して計算力を伸ばしていく。</li> <li>課題解決型の問題を提示し、対話などを中心とした、授業を展開で考える力を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストは2週に1回程度。</li> <li>各單元終了時に単元のまとめテストを実施。</li> <li>レポートの実施。</li> </ul>	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートや電子黒板を活用し、他者の意見や考えを共有することで、学びを深める。</li> </ul>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間の授業で最初に提示する「本時の目標」が達成できたかどうかを振り返る。また、次回の授業内容の予告を行う。</li> </ul>
---	---